



Republic of  
Ghana  
10

# ガーナから考える国際協力

～開発教育の手法を生かして～

安部 一実

鹿児島県立松江商業高校

- 実践教科等/英語
- 対象学年/高校3年生
- 時間数/6時間
- 対象人数/80名



クイズを活用し、生徒の興味をひきつける導入や、研修で撮影した写真をテーマに分けてフォトランゲージに活用する手法と流れがすばらしい。

## ❖カリキュラム

**【実践の目的】** 本校は国際経済科(現在は国際ビジネス科と改称)を中心に10年以上前から韓国との国際交流事業を実施している。2年次に研修旅行として姉妹校である安東女子情報高校で交流をしたり同校からの高校生のホームステイを受け入れたりしている。また韓国以外にもラオス、中国の高校生訪問団との交流も経験している。それらの活動を通して国際理解、国際交流に興味関心のある生徒は多い。

- 今回ガーナという生徒にとってはまったく未知で、開発途上にある国を紹介することで日本に生活していると見えてこないアフリカ、あるいは国際社会の問題を理解させる。
- 知識として理解するのではなく、日本の高校生として何が今できるかを開発教育の手法を生かして生徒に具体的に考えさせる。

## ❖授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	I ガーナを知る 導入として地理・気候・歴史を紹介してガーナに興味を持たせる	ガーナに関するクイズをグループ対抗のゲーム形式で行う	・世界地図 ・国旗 ・視察中撮影した写真 ・ガーナのお金
2 ・ 3	II ガーナの人々の日常生活を知る ガーナの人々の日常生活の様子、現状を伝え、ガーナの人々の生活の様子や問題を理解させる	写真を見ながらガーナの人々の日常生活を理解させ、どんな問題があるかを考えさせる	・視察中撮影した写真
4 ・ 6	III 国際協力を考える 日本の高校生として今何ができるか考えさせる	・グループ内でのディスカッションをした後、全体へ発表してそれぞれのグループの考えをシェアする ・青年海外協力隊員の活動を紹介する	・開発教育の教材、資料 ・ビデオ(青年海外協力隊員からのビデオメッセージ)

## ❖授業の詳細

### 1 時限目 I ガーナを知る

ゲームを通してガーナという国および日本との関わりについて基本的な情報を生徒に与え、次の「II・III」の活動へ導入とする。

#### 【方法】

ゲーム① JICA研修で私がこの夏訪れた国はどこ？

#### Hints

- 1.千円札(野口英世)
- 2.ガーナ国旗
- 3.チョコレート

ゲーム② ガーナはどこにある？ガーナという国で連想すること、知っていることは？

- 1.ガーナを白地図に記入する。

- 2.グループごとに知っていることをできるだけたくさん書き出す。
- 3.全体に発表する。
- 4.ガーナについての今までの知識・理解を全体で確認する。

#### ゲーム③ Ghana Quiz show

- 1.ゲーム②をふまえてガーナに関する質問にグループで相談して答える。
- 2.解答をして得点を競う。
- 3.解答とともに写真、持ち帰った物(教材)を見せながら、説明を加えてガーナについての理解を深める。

※問題はP60/資料1参照



## 2・3 時限目 II ガーナの人々の日常生活を知る

実際にガーナ研修に行き、見聞したこと及び撮影した写真を活用して人々の日常生活やガーナの文化等を紹介する。ただ写真を見せて説明するのではなく、生徒自らが写真の中から日本との文化の違いに気づき、ガーナの文化を発見できるようにする。

その中で開発途上であるガーナの諸問題、また日本の問題を考えるきっかけとなり、次のⅢ「国際協力」への導入となるようにする。

### 【方法】

1. 一人ひとりにガーナで撮影した日常生活のいろんな場面の写真を配り、人々が何をしているのか、どんな場面(テーマ)かを考えさせ紙に書かせる。
2. 同じテーマの生徒がグループになりお互いの写真を見せ合いながら、写真から読み取れること、疑問点や感想について話し合いをした後、発表する。
3. 他のグループの発表を聞き、ガーナの人々の日常生活を理解し、日本との違いやガーナの問題、日本の問題についてグループで討議を行う。

※テーマをあらかじめ次の点に絞って写真の選定をしておく。選択したテーマは次のとおりである。  
(写真の一部はP61/資料2) ①教育 ②水と公衆衛生 ③食料 ④HIV/AIDS ⑤保健衛生と栄養 ⑥経済開発

## 4~6 時限目 III 国際協力を考える

「地域なしに、人々の生活は成り立ちません。平和ももたらされないでしょう。」(M. スコット・ベック) 生きて行く上で、人間は人と人とのつながりに依存しています。このことは資源に乏しく、厳しい状況なる地域で特に重要なことです。貧しい地域では、近くの人々とのつながりが大きな力となるのです。

次の二つのアクティビティによって模擬的に具体的に地域開発を考えることによって、何をどう支援したらよいかを考えさせる。

### (1) アクティビティ1「地域での生活」

#### 【方法】

1. 「地域の情報」(資料P61)を読んでください。地域の様子を頭の中で想像してみましょう。この地域に住む人々はどのような暮らしをおくっているのでしょうか。
2. グループを作ります。想像してわかったことやアドゥ地域の重要な情報を出し合い、次の表にまとめてみましょう。グループの代表が発表し黒板に書き出します。

#### アドゥ地域の情報

- ・とても乾燥していて、干ばつが続いている。
- ・上手な地域の合唱団がある。
- ・学校の出席率は低い
- など

3. 毎日の生活の中で、アドゥ地域に住む人々はどのようなことに苦労していますか。グループで話し合ってください。
4. なぜ援助機関はアドゥ地域で地域開発を進めようとするのでしょうか。グループで話し合ってください。

### (2) アクティビティ2「地域の意見をまとめる」

地域開発の成功は住民参加にかかっている。どのようにして住民の意見をまとめていけるか(コンセンサス)を考える。

#### 【方法】

1. みなさんはアドゥ地域に住んでいます。今日は、皆さんは家族の代表としてこのあつまりに参加しています。
2. 4人から6人のグループを作ります。各グループに、それぞれ異なる一家の家族情報(資料P62、63)を配布します。これをよく読み、家族が直面している問題について話し合ってみましょう。財産やうまくいっている事柄についても話し合ってください。(例:お父さんがいい仕事についている/子供が学校に通っている)また、変えていかなければならない事柄を話し合ってください。
3. 先生/ファシリテーターは、援助機関に所属するマネージャーとして自己紹介します。アセスメントの結果にそって、地域開発の計画を説明します。
4. 机の上にコンセンサス表(資料P64)を広げます。地域の住民は一人一票持っています。それぞれの家族の状況を考えながら、一番先に取り組みされるべきことに投票してください。
5. なぜその事柄に投票したのかをグループで話し合ってみましょう。それぞれ異なった意見を出したでしょうか。それはなぜでしょうか。グループで意見をまとめられるでしょうか?できる限り、話し合いを続けてください。

### (3) 青年海外協力隊員の活動の様子を紹介する

「ガーナの人々の日常生活」および「国際協力」で学習した開発のコンセンサス表にあった六つの項目の中から①教育 ②水と公衆衛生 ③HIV/AIDS ④経済開発の分野においてガーナで活動している青年海外協力隊員のビデオレターを視聴して感想を書く。

- ①理数科教師隊員(ダビンシェリ中学校) ②公衆衛生隊員(ギニアワーム撲滅活動) ③エイズ対策隊員(クワウサース郡病院) ④手工芸隊員(未亡人・孤児を支援する会)

### (4) アクティビティ1、2とビデオレターを見て、今自分にできることを考えて書く

田中 紀子  
報告書①

古野 匠子  
報告書②

村木 啓司  
報告書③

重森 美由姫  
報告書④

黒明 望一郎  
報告書⑤

山崎 知代子  
報告書⑥

祝迫 直子  
報告書⑦

河毛 樹  
報告書⑧

森 泰三  
報告書⑨

安部 一実  
報告書⑩

参考資料



## ◆成果と課題

今回の実践のⅠは導入としてクイズ形式、Ⅱの人々の日常生活ではフォトランゲージによって、またⅢは「開発教育」による参加型授業展開で行った。特にグループワークでは積極的な意見の交換が行われ、生き生きと活動していた生徒の姿が印象的であった。いかに普段の教師主導型の授業に生徒が退屈しているのかを痛感した。教師はひとつの授業の型だけでなく、教材および生徒集団によってその時々で授業のスタイルを変えることができる柔軟さをもたなければいけないことを実感した。

アフリカの年と言われつつもアフリカの国の名前やその地理的位置が正確に指摘できない状態を見るとアフリカに対する関心の低さがうかがわれる。

本校の国際教育はどちらかというと先進国中心に行われてきたが、ガーナ研修を通して開発途上国への理解と関心を広げていく必要があると思った。そして青年海外協力

隊の方々の活動は生徒が自分の進路あるいは人生を考える上で大いに参考になったことと思う。

高校においては国際教育の時間の確保が難しくなっている中で来年度以降もガーナから持ち帰った教材を生かして新たな授業を展開していきたいと思う。

### 📖 参考資料

- (1) ガーナ大使館HP  
<http://www.ghanaembassy.or.jp/japan/fifa.html>
- (2) 外務省HP  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ghana/>
- (3) 地域開発ってなあに？ (World Vision)

## 別紙資料

資料1

### Welcome to Ghana Quiz Show

Population	Capital city	Religion	Currency
World Heritage	National Flag	Twii	Province
Soccer	Independence	Official Language	Food

## Ghana Quiz Show

1. What is the population of Ghana?  
(a) 13,000 thousand (b) 23,000 thousand  
(c) 33,000 thousand
2. What is the capital city of Ghana?  
(a) Accra (b) Cairo (c) Nairobi
3. What is the most popular religion in Ghana?  
(a) Hindu (b) Islamic (c) Christianity
4. Which currency do they use in Ghana?  
(a) Won (b) Dollar (c) Cedi
5. What do they say "Welcome" in Twii language?  
(a) Akuwaaba (b) Saubona (c) Sabaidi
6. When did Ghana gain her independence?  
(a) 1945 (b) 1957 (c) 1975
7. How many provinces does Ghana have?  
(a) 8 (b) 9 (c) 10
8. What is the official language in Ghana?  
(a) French (b) Spanish (c) English
9. What is the popular food in Ghana?  
(a) banku (b) nashi goren (c) shishi kebabu
10. What is the name of the Ghana's national soccer team?  
(a) Red Devil (b) Black Stars (c) Blue Wave
11. How many world heritages does Ghana have?  
(a) 2 (b) 3 (c) 4
12. Which is the national flag of Ghana?





教会の中



ギニアワームの治療



中学生



未亡人支援



ガーナの料理



町の様子

## アクティビティ1「地域での生活」

### 〈地域情報〉

#### アドゥ地域とは

東アフリカのある地域の話です(実際には存在しません)。

太陽が沈めば、もう寝る時間。やっと一息つける時間です。しかし、気温は下がりません。空気はほこりっぽく、カラカラに乾いています。今年も厳しい一年でした。

遠くのほうに、合唱団の声が聞こえてきます。練習しているようです。音楽にのり、自然に足をリズムに合わせてしまいそうです。地域の合唱団は、とても有名です。このあたりに住む人々はみな、アドゥ地域にはいい歌手がそろっていると知っているのです。

どんなうまい合唱団がいても、人々は次々と地域を出て行きます。きれいな水が手に入る場所を探して、住み慣れたふるさとアドゥ地域を離れて行くのです。

アドゥ地域は、干ばつの大きな被害を受けました。雨が降らなければ、井戸はすぐに乾いてしまいます。朝一番に井戸に行き、できるだけ多くの水を取りに行くことが、人々の日課となりました。井戸は遠くにあるので、水くみだけで半日が過ぎてしまいます。水が完全になくなれば、人々は生活できなくなってしまうでしょう。

今のアドゥは、かつての姿とまったく変わってしまいました。子供たちが、学校に通うことは難しくなっています。おなかがぺこぺこでは、勉強に集中できないのです。土地は乾き、家畜には水を十分与えることができません。トウモロコシ以外の作物を育てることはできず、住民は十分な栄養をとることができないのです。

しかし、アドゥ地域に住む人々は、強い意志を持っています。学校に通う子供の数が減っても、先生たちは熱心に授業をしていますし、ある住民グループはエイズの教育プログラムを実施しています。市場には人々が集まり、買い物をしています。雨が降るようになれば、出て行ってしまった多くの人々がアドゥ地域に戻ってくるでしょう。